

BUSINESS

リーダーになる!

実践する上司学。
よきリーダーに、よき上司になるために。



嶋津良智 リーダーズアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。

第1回 上司学を学びリーダーに

これからニューヨークにお住まいの皆さんにとっても実践できるリーダーになるための方法をお伝えしていきます。

こんにちは。嶋津良智です。

2010年6月にニューヨークでセミナーをやらせていただいたことがきっかけで、今月よりコラムを掲載させていただくことになりました。ここではわたしなりの「リーダー学」をお伝えさせていただき、読者の皆さんのお役に立てたらと思います。

今回は、まずわたしの簡単な自己紹介をさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

わたしは1987年に大学を卒業後、IT系ベンチャー企業に入社しました。同期100人の中でトップセールスマンとなり、その功績が認められ24歳で最年少営業部長に抜擢され、さらに、その部門を就任3カ月で全国ナンバーワンにしました。

その後28歳で独立、起業して代表取締役に就任。その翌年、縁あって知り合った2人の経営者と情報通信機器販売の新会社を設

立しました。

その3年後、出資会社3社を吸収合併し、実質5年で売り上げ52億円の会社にまで育て、2004年5月、株式上場(IPO)を果たしました。05年企業不祥事が相次いだことで、日本のリーダーの在り方に問題を感しました。

それがきっかけとなって、「リーダーの存在意義とは何か?」「リーダーが果たすべき本場の役割とは何か?」「リーダーは人、企業、社会に何を持って貢献するのか?」と考え、独自のリーダー教育を提唱し、次世代を担うリーダーを育成することを目的とした教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立しまし

た。

現在はシンガポールに拠点を移して、業績向上に寄与する独自プログラム「上司学」が好評を博し、上司学コンサルタントとして、講演・企業研修、コンサルティングを日本に向けて行っています。また、これまでの株式上場経験を生かし、顧問・社外役員として経営に参画し、各企業の経営陣へ

リーダーになるツール 役立つ書籍や道具などを紹介



「怒らない技術」

部下に怒ってはかりでうまくいかに悩み、自分に課したのは「怒らない」という約束。それからビジネスパーソンとして成功したと語る嶋津氏の著書。仕事、恋愛などすべての人間関係に活用できるルール、習慣を紹介している。(フォレスト2545新書/945円)

アドバイスを行っています。また、本田直之さんはじめ、ビジネス書の著者兼経営者仲間5人とボランティア組織「JBN (Japanese Business Network)」を発足し、世界各地で活躍する日本人起業家・ビジネスパーソンを支援するために、世界13都市でビジネスセミナーを開催しています。前回、セミナーにうかがったのも、この活動がきっかけとなりました。

50万部を突破した『怒らない技術』、『あたりまえだけどなかなかできない上司のルール』、『だから、部下がついてこない!』など、本も書いています。